



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場取引所 東・大

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン

コード番号 9832 URL <http://www.autobacs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 湧田 節夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当 (氏名) 勝島 雅彦 TEL 03-6219-8829

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	182,873	2.6	11,324	12.6	12,522	13.1	6,639	19.5
24年3月期第3四半期	187,666	0.0	12,961	20.9	14,409	28.1	8,245	40.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 6,850百万円 (11.5%) 24年3月期第3四半期 7,742百万円 (41.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	212.44	-
24年3月期第3四半期	246.66	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	224,738	140,958	62.5	4,556.35
24年3月期	217,948	146,193	66.8	4,461.28

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 140,523百万円 24年3月期 145,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	70.00	-	75.00	145.00
25年3月期	-	75.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	1.4	11,800	14.0	13,000	15.1	6,800	19.1	220.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名） - 、除外 - 社（社名） -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 有

修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	32,650,035株	24年3月期	34,251,605株
期末自己株式数	25年3月期3Q	1,808,897株	24年3月期	1,609,485株
期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	31,250,803株	24年3月期3Q	33,427,997株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 第3 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4 . 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

事業環境

当第3四半期連結累計期間における国内の自動車関連消費につきましては、9月までのエコカー補助金制度に伴う新車販売台数の増加により、タイヤ、ホイール、車内アクセサリーなどの需要が伸びました。また、補助金制度終了後も、それまでに販売された自動車や全国的な寒波を背景にタイヤ・ホイールセットなどの需要が堅調に推移いたしました。一方、昨年の地上波デジタル放送への移行に伴うカーナビゲーションや車載用チューナーの需要増の反動やカーナビゲーションの単価下落などもあり、商品ごとに需要の違いが認められました。

国内店舗における営業状況

当第3四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店4.1%、全店1.6%の減少となりました。しかし、中期経営計画の施策として取り組んできた売場改装や接客改革などの効果もあり、既存店の客数は0.9%増加いたしました。

「カー用品販売」におきましては、エコカー補助金制度に合わせて車を購入されたドライバー向けの販促施策を強化した結果、車内アクセサリー、ホイール、洗車用品などの売上が好調に推移いたしました。また、各店舗においてスタッドレスタイヤやホイールの品揃えを充実させ、セット販売などお客様の買いやすさを追求した結果、関東以北を中心とした寒波・降雪の後押しもあり、これらの商品の売上が増加いたしました。さらに、利用者数が伸びているスマートフォン関連商品の販売も強化したことにより、これらの売上也堅調に推移いたしました。しかしながら、カーエレクトロニクスにおいて、昨年度の地上波デジタル放送への移行に伴うカーナビゲーションや車載用チューナーの需要増からの反動減や、カーナビゲーションの売れ筋価格帯の変化やカーディーラーなどとの価格競争による単価下落に伴う売上減少の影響は大きく、カー用品全体の売上としては前年同期と比較して減少いたしました。

「車検・整備」は、新車販売が好調の反面、車検の需要自体は減少したものの、4月より車検コンタクトセンターを本格稼働させ、電話やWeb経由でお問い合わせいただいたお客様に対するご案内を開始するなど積極的に取り組んだことにより、車検実施台数は前年同期比6.9%増加の約39万9千台となりました。また、従来から取り組んでいる小規模のキズや凹みを修復する板金・塗装に加え、高度な板金技術を持つ板金集中センターを3拠点開設したことなどにより、板金・塗装の売上が増加いたしました。

「車販売・買取」は、エコカー補助金制度に伴い新車販売が好調に推移した一方、中古車につきましては昨年の震災後の需要の反動もあり、中古車の流通業者向けの販売台数が減少し、総販売台数は前年同期比1.6%増加の12,659台と前年並みとなりました。なお、12月末のカーズ加盟店舗は昨年度の175店舗から235店舗に増加いたしました。

国内における出退店は、新規出店が25店舗、スクラップアンドビルドによる閉店及び閉店が4店舗、退店が2店舗でありました。また、「オートバックスセコハン市場」を3店舗、他業態におけるインショップ形態に変更いたしました。これらの拠点は店舗数に含めておらず、当第3四半期末において、その数は4拠点であります。この結果、国内の店舗数は、昨年度末の530店舗から20店舗増加の550店舗となりました。

連結業績

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比2.6%減少の1,828億73百万円、売上総利益は前年同期比1.5%減少の588億99百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比1.5%増加の475億75百万円、営業利益は前年同期比12.6%減少の113億24百万円となりました。営業外収支では昨年度発生した保険金収入が減少したことなどにより営業外収益が減少し、この結果、経常利益は前年同期比13.1%減少の125億22百万円となりました。また、特別損失として投資有価証券売却損4億67百万円及び店舗に関わる固定資産減損損失79百万円を計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比19.5%減少の66億39百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、以下のとおりであります。

< 当社 >

売上高は、前年同期比3.7%減少の1,527億57百万円となりました。フランチャイズチェーン加盟法人に対する卸売部門においては、車内用品やタイヤ・ホイールの売上が増加したものの、カーエレクトロニクスの売上が大幅に減少し、前年同期比3.9%減少いたしました。小売部門においては、車販売の売上などが増加したものの、カーエレクトロニクスの売上減少の影響が大きく前年同期比1.2%減少となりました。売上総利益は、仕入改革の効果などにより売上総利益率は改善傾向にあるものの、カーエレクトロニクスなどの売上減少に伴う粗利額の減少により、前年同期比1.6%減少の329億89百万円となりました。販売費及び一般管理費は、第1四半期において昨年度震災の影響で自粛していた広告宣伝を例年並みに実施したことや情報システムの減価償却費や支払手数料などが増加したことなどにより、前年同期比0.9%増加の207億64百万円となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比5.6%減少の122億25百万円となりました。

< 国内店舗子会社 >

売上高は、前年同期比4.1%減少の599億54百万円、営業損失は5億26百万円（前年同期は6億74百万円の営業利益）となりました。売上高は、車内アクセサリ、スタッドレスタイヤとホイールのセット販売が好調であったものの、カーエレクトロニクスの不振の影響により減少いたしました。売上総利益は、カーエレクトロニクス以外においてもオイルやメンテナンスといった昨年売上が好調だった商品の売上減少に伴い粗利額が減少いたしました。販売費及び一般管理費は、第1四半期において震災後の反動で前年に比べて増加したものの、第2四半期以降、経費削減に取り組んだことなどにより前年並みとなりました。

< 海外子会社 >

売上高は、前年同期比7.4%減少の64億80百万円、営業利益は前年同期比74.6%減少の18百万円となりました。フランスは欧州経済が低迷するなか個人消費が落ち込んだことに加え、日曜営業ができない店舗が増加したことや、冬季商品の売上不振の影響などにより売上高が減少いたしました。しかしサービス売上の比率を上げ、経費の抑制に努めたことにより営業利益は前年同期比で増加いたしました。中国では、上海において現地子会社の直営3号店を出店した一方、直営1号店を退店したことにより売上高は減少いたしました。売上不振に伴う全社的な経費削減を実施したものの、出店コスト及び退店による損失発生に伴い、営業損失が発生いたしました。シンガポールは昨年度に出店した店舗の売上が加わったことや、タイヤやオイルなどのメンテナンス商品の販売に取り組んだことにより売上高と売上総利益が前年同期比で増加いたしました。さらに販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、営業利益は前年同期比で増加いたしました。タイは、タイヤを中心とした積極的な販促活動により売上高は伸びているものの、店舗家賃の増加など経費の増加により営業損失が発生いたしました。

< 事業子会社 >

売上高は、オイルなどの卸売を行っているパルスター株式会社の積極的な販路拡大に伴い売上が増加したことや、板金集中センターを運営する株式会社ヤナカが連結対象子会社となったことにより前年同期比12.9%増加の112億91百万円となりました。しかし、前年より物流経費や人件費が増加したことにより営業利益は前年同期比7.0%減少の1億85百万円となりました。

< 機能子会社 >

売上高は、前年同期比0.9%増加の25億63百万円、営業利益は前年同期比5.1%増加の3億58百万円とほぼ前年並みとなりました。

< 営業利益における連結調整の内容 >

セグメントの営業利益の合算額から連結営業利益への調整額は、前年同期に比べ3億43百万円変動し、9億36百万円でありました。前年度からの連結調整額の減少は、フランチャイズチェーン加盟法人の子会社化に伴うのれんの償却額が増加した一方で、当社から国内店舗子会社に販売した棚卸資産の調整額や固定資産の調整額が減少したことなどによるものであります。

「オートバックス 2010 中期経営計画」の進捗状況

「オートバックス 2010 中期経営計画」につきましては、足元の事業環境が厳しいものではありませんが、計画を着実に進めることが重要と考えております。主な施策の進捗に関しましては、既存店改革につきましては、売場改装後の店舗間における効果のばらつきは是正や接遇研修を継続的に取り組むと共に店舗マネジメント層への教育をはじめとした店舗人材改革にも引き続き注力いたしました。この結果、来店客数や新規のオートバックス会員の数などにおいて改善効果が現れてきております。また、今期よりオートバックス店舗の改装のノウハウを生かしてスーパーオートバックス店舗の改装を開始し、当第3四半期末までに9店舗実施いたしました。来期末までに全店の改装を予定しております。新規出店につきましては、今期30店舗の出店計画に対して25店舗を出店いたしました。また、店舗のローコスト化を継続的に推進し、従来よりも建物や機材等の投資額を抑えた店舗を出店いたしました。マルチチャネル化・サービス業態の開発につきましては、インターネットショッピングモール「楽天市場」への出店、お客様の利便性とスタッフの業務効率の向上を目的とした店舗スタッフ用のタブレット端末の導入などを行いました。また、店舗子会社の収益改善への取り組みは、店舗子会社間及びフランチャイズチェーン加盟法人に対する店舗譲渡や、子会社間の合併などを実施いたしました。さらに子会社店舗における業務効率の向上のための改善策の検討を継続して行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.1%、67億89百万円増加し、2,247億38百万円となりました。これは、主に現金及び預金、有価証券が減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ16.8%、120億24百万円増加し、837億79百万円となりました。これは、主に未払法人税等が減少した一方で、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.6%、52億34百万円減少し、1,409億58百万円となりました。これは、主に自己株式の取得、利益剰余金の配当等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月30日発表の業績予想に関しましては変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した店舗用建物及び構築物以外の有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,959	42,458
受取手形及び売掛金	26,776	38,623
有価証券	8,922	2,505
商品	17,083	20,781
未収入金	19,955	25,828
その他	18,032	17,520
貸倒引当金	118	122
流動資産合計	141,611	147,596
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,793	22,919
その他(純額)	16,730	18,422
有形固定資産合計	39,523	41,341
無形固定資産		
のれん	764	868
その他	5,489	4,783
無形固定資産合計	6,253	5,651
投資その他の資産		
差入保証金	19,221	18,693
その他	15,021	15,182
貸倒引当金	3,683	3,727
投資その他の資産合計	30,559	30,148
固定資産合計	76,337	77,141
資産合計	217,948	224,738
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,342	39,645
短期借入金	5,087	4,091
未払法人税等	4,957	1,489
事業再構築引当金	1,089	1,141
その他の引当金	426	475
その他	19,746	20,434
流動負債合計	55,649	67,278
固定負債		
社債	135	85
長期借入金	5,160	5,346
引当金	324	425
資産除去債務	1,801	1,960
その他	8,683	8,684
固定負債合計	16,105	16,501
負債合計	71,755	83,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,278	34,278
利益剰余金	83,074	79,488
自己株式	5,496	7,228
株主資本合計	145,854	140,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	92
為替換算調整勘定	281	106
その他の包括利益累計額合計	229	13
少数株主持分	567	435
純資産合計	146,193	140,958
負債純資産合計	217,948	224,738

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	187,666	182,873
売上原価	127,851	123,973
売上総利益	59,815	58,899
販売費及び一般管理費	46,853	47,575
営業利益	12,961	11,324
営業外収益		
受取利息	123	105
受取配当金	35	41
持分法による投資利益	72	38
情報機器賃貸料	915	892
為替差益	-	204
その他	2,278	1,766
営業外収益合計	3,425	3,048
営業外費用		
支払利息	125	99
情報機器賃貸費用	956	854
為替差損	261	-
その他	632	896
営業外費用合計	1,976	1,851
経常利益	14,409	12,522
特別損失		
固定資産売却損	29	-
減損損失	33	79
投資有価証券売却損	-	467
店舗整理損	51	-
特別損失合計	115	546
税金等調整前四半期純利益	14,294	11,975
法人税、住民税及び事業税	5,965	4,825
法人税等調整額	63	529
法人税等合計	6,028	5,354
少数株主損益調整前四半期純利益	8,266	6,620
少数株主利益又は少数株主損失 ()	20	18
四半期純利益	8,245	6,639
少数株主利益又は少数株主損失 ()	20	18
少数株主損益調整前四半期純利益	8,266	6,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	42
為替換算調整勘定	420	188
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	523	229
四半期包括利益	7,742	6,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,737	6,854
少数株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成24年5月10日開催の取締役会決議により、平成24年5月11日から平成24年8月8日までの期間に自己株式1,800,000株、取得価額の総額7,193百万円の取得を終了しております。

また、同取締役会決議により、平成24年5月17日に自己株式1,601,570株の消却を実施したことにより、自己株式が5,463百万円減少し、あわせて利益剰余金が同額減少いたしました。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	113,662	61,845	6,818	4,614	726	187,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	44,989	695	183	5,388	1,813	53,070
計	158,652	62,541	7,001	10,002	2,539	240,737
セグメント利益	12,953	674	73	199	340	14,242

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,242
棚卸資産の調整額	693
セグメント間取引消去	343
ポイント引当金洗替額	83
のれんの償却額	58
固定資産の調整額	37
その他	63
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	12,961

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	110,754	59,459	6,293	5,611	753	182,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,003	495	186	5,679	1,809	50,173
計	152,757	59,954	6,480	11,291	2,563	233,047
セグメント利益又は損失（ ）	12,225	526	18	185	358	12,261

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	12,261
棚卸資産の調整額	501
セグメント間取引消去	323
のれんの償却額	241
ポイント引当金洗替額	43
固定資産の調整額	153
その他	20
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	11,324

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

部門別売上高及び構成比率

部門	当第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）		
	金額（百万円）	構成比（％）	前年同期比（％）
卸売部門	107,718	58.9	98.0
小売部門	72,483	39.6	96.5
その他（リース物件の賃貸借料）	2,672	1.5	104.1
合計	182,873	100.0	97.4

（注）表示金額には、消費税等は含まれておりません。

商品別売上高及び構成比率

品目	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門			
タイヤ・ホイール	30,272	28.1	102.6
カーエレクトロニクス	24,635	22.9	80.0
オイル・バッテリー	13,721	12.7	108.7
車外用品	10,932	10.2	102.1
車内用品	10,700	9.9	114.2
カースポーツ用品	6,245	5.8	106.1
サービス	2,009	1.9	110.2
その他	9,199	8.5	99.8
小計	107,718	100.0	98.0
小売部門			
タイヤ・ホイール	16,796	23.2	102.8
カーエレクトロニクス	12,272	16.9	78.3
オイル・バッテリー	6,218	8.6	97.3
車外用品	7,810	10.8	97.4
車内用品	7,315	10.1	106.8
カースポーツ用品	4,575	6.3	100.2
サービス	12,421	17.1	102.4
その他	5,071	7.0	98.4
小計	72,483	100.0	96.5
その他(リース物件の賃貸借料)	2,672	-	104.1
合計			
タイヤ・ホイール	47,069	25.7	102.6
カーエレクトロニクス	36,908	20.2	79.4
オイル・バッテリー	19,940	10.9	104.9
車外用品	18,742	10.2	100.1
車内用品	18,016	9.9	111.0
カースポーツ用品	10,821	5.9	103.5
サービス	14,431	7.9	103.4
その他	16,942	9.3	100.0
合計	182,873	100.0	97.4

(注) 1. 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 卸売部門及び小売部門の「その他」は、車販売収入、中古カー用品販売及びロイヤリティ収入等でありませ

ず。

3. 持分法適用関連会社(株)バッファロー他5社に対する売上高は、卸売部門に入っております。